



男女平等と多様性をめざして

男女平等参画条例が施行されて23年。女性をめぐる問題や性の多様性に関する取り組みなど、ジェンダーにかかわる多くの課題が残されています。佐倉市の状況はどうでしょうか。

拠点施設ミウズ

男女平等参画の施策を具体的に推進する施設として、2003年の条例施行と同時に男女平等参画センター・ミウズを設置。毎年男女平等参画に関する講演会、セミナー、映画上映会などを開催しています。

2024年度は「女らしさ、男らしさを超えてくそもそもジェンダーってなに」「生き残るための防災対策」「DVからの回復」などを実施。お茶を飲みながら人間関係の悩みや日頃のモヤモヤを自由に話し合う「ティータイムinミウズ」を開催。また、毎週金曜日に女性の悩みや不安に1対1で専門の女性相談員が応じる女性のための相談や不定期で女性のための法律相談を行っています。詳細は、以下のQRコードで



困難な女性への支援

昨年4月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行。性暴力、DV、生活困窮、家庭の破綻など複雑で多様化する女性をめぐる課題に対し、相談支援を行うことを目的としています。物価高が続く中、シングルマザーが子どもにミルクを

薄めて飲ませているという報道がありました。シングルマザーの平均年収は272万円。ほとんどの人が苦しい生活を強いられています。

また、DVの相談件数は全国でコロナ禍の2020年が12万9500件で過去最高となり、昨年度まで高水準で推移。佐倉市でも、毎年400件から600



ミウズの前で(レイクピアウスイ3F)

件と高い状況です。このような女性たちに対し、身近な市町村に、専門の相談支援員の配置が求

められています。市は、既存の相談機

関で対応できるので、専門の支援員は置かないとしています。それに対し、昨年の議会でも、どこに相談したらいいか分かるように、HPなどで広報するよう提案しました。その後、市のHPに相談窓口が分かる「困難な問題を抱える女性への支援について」が掲載されました。



パートナーシップ制度

パートナーシップ制度は、同性同士の婚姻が認められていない日本、自治体が戸籍上同性であるカップルに対して、2人のパートナーシップが婚姻と同等であると承認し、独自の証明書を発行するものです。それにより公営住宅への入居が認められたり、病院で家



市議 五十嵐ともみ

族として扱ってもらえるなど、様々なサービスや社会的配慮が受けられることとなります。しかし、法的な拘束力はありません。

佐倉市に制度を創設するよう、一昨年、昨年と議会質問しましたが、「研究をしていく」との答弁に終始。県内での制度を導入している自治体は13自治体、八千代市等3自治体も、今年4月から導入を予定しています。

そのような現状を受け、ようやく佐倉市も、4月からパートナーシップ宣誓制度の創設を目指すことになりました。

中学校も混合名簿に

子どもたちに男女平等意識を育むには、男女混合名簿が有効です。従来の男女別名簿は「男子が先、女子が後」になっています。男女混合名簿は、男女を分けず、50音順や生年月日順になっていて、性の多様性への配慮にもなります。

市民ネットは、以前から混合名簿を求めてきました。全小学校で実現しましたが、中学校では男女別名簿のままです。中学校も男女混合名簿にするよう見直しを求めています。

性の多様性を含め、男女平等を進めるために、これからも積極的に発言していきます。

学校には、どんな服装で行きたい？
スカートorスラックス

県議 川口えみ

ある調査では、全国で年間1万人が校則を理由に不登校になっているというデータがあります。制服が着られず、不登校になるケースもあります。男女別に制服が決められていることで、決まりを守らなければという思いと自らの性自認の相違で苦しむ生徒がいます。男女別の制服でなく、下はスボンかスカートか、一人ひとりが選べるように、または私服も可能とするなど、2021年に市議会でも質問をし、翌年度からすべての中学校で女子もスラックスを選択できるようにしました。

子どもが、スラックスを履きたい時に、親が理解をすることも重要です。千葉県では多様性尊重条例ができましたが、親の意識改革が子どもよりも遅れていると感じます。

制服や体操服、上履きなど学校生活に必要なものを、必ず統一する必要があるのか、子どもたちの意見を聞いて、今一度考える時期に来ているのではないのでしょうか。



今年もよろしくお祈りします

また、水道料金値上げですか!?

3年前(2022年4月)に7.4%値上げされた水道料金ですが、来年(26年)4月からさらに13.2%の値上げが検討されています。モデルケース4人家族(口径20mm 30m³使用)の場合、1カ月926円のアップとなります。



市議 伊藤とし子

市民意見の反映を

昨年6月、市は「水道料金のあり方懇話会」を立ち上げ、どれくらい値上げ幅なら適正かを諮問。理由は、今後、浄水施設や水道管の老朽化、耐震化対策などで事業費がかさむ一方、人口減少や節水で料金収入が減るため、26年度には再度赤字となるので、値上げすることです。

今年度中に懇話会から市長に値上げ案が答申され、その後、議会の承認となります。

3年前、地区別の市民説明会を開催しましたが、市民の意見は反映されませんでした。11月議会で、市民意見を反映するよう求めました。

国の押しつけ 水源確保事業

水道料金の値上げは、国の水源確保事業(奈良俣ダム、八ッ場ダム、霞ヶ浦導水事業)へ参画したからです。特に20年の八ッ場ダム完成後、安い地下水が減られ、高い利根川からの受水が25%も増加したため、受水費が3億円も増えました。黒字経営だった水道事業は、一挙に赤字に転落。安くおいしい地下水が減らされたのは、県の環境保

全条例が地盤沈下防止のため地下水のくみ上げ規制をしているからです。地盤沈下はほとんど収まっており、地下水を使わせないためのも方も取れます。

ツケは利用者へ

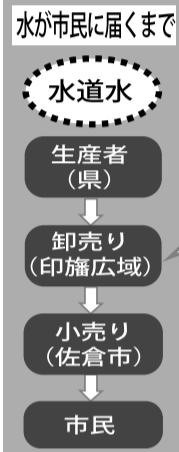
現在進行中の霞ヶ浦導水事業が5年後に完成すれば、現在の井戸は閉じられ、利根川からの受水が5500m³増加するため、さらに受水費増となります。また、新たに送水管、配水池も必要で整備に30億円もかかります。今後どれだけ水道料金が跳ね上がるか、想像もつきません。ひとえに、国の水源確保事業という無駄な公共事業のツケを、利用者負担という名目で、水道料金に転嫁しているからです。

水需要が減る中、霞ヶ浦導水事業から撤退すべきです。

値下げの努力を

19年9月県議会で県企業局に質問をしました。

佐倉市・成田市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町



「浄水場を持たない印旛広域水道は、県営水道に年間18億円が浄水加工を委託。これが水道料金を押し上げている。委託料の10%が一般管理費。一般管理費とは民間企業の財務処理で役員報酬や株主配当金、広告宣伝費、交際費などを指し、官と官である県と印旛広域水道に適用するのは不適切であり、見直すべき」

私が県議会で取り組んできた委託料10%の見直しを、印旛広域ととも県企業局に交渉していくよう、また、市の一般財



霞ヶ浦導水事業：那珂川・霞ヶ浦・利根川をトンネルでつなぎ、水のやり取りをする事業です。佐倉市分の出資金・負担金は6億3000万円で、4億8600万円は支払い済みです。工事の進捗次第では今後の追加負担もあり得ます。

給水停止の前に

2023年度に水道料金を払えず水道停止されたのは、延べ944件もありました。滞納者に連絡するのは市ではなく委託事業者で、事情を聴くなど寄り添った対応は困難です。

水道料金が払えないことは、困窮しているシグナルです。催告状を出す時に、困窮者相談窓口の連絡先を同封するよう市水道部に求めましたが、最後まで平行線でした。福祉部と連携して、生活再建の支援も兼ねた納付相談の窓口設置が必要で

リチウムイオン電池にご注意!!

全国の清掃センターで発火事故続出

近年、ごみ処理施設でリチウムイオン電池等による発火事故が続出しています。10月に視察した町田市バイオエネルギーセンターでは、2年間に4回も消防が出勤し、うち3回の火災は大規模なもので、現在、新設の発電施設は稼働停止中でした。印西市クリーンセンターでも昨年末火災が発生し、現在粗大ごみ処理施設が停止中です。佐倉市・酒々井町クリーンセンターでは一昨年度1件、昨年度2件発生。ごみ処理施設が壊れれば莫大な修理費がかかり、私たちの生活にも大きな影響が出ます。主な発火原因となるリチウムイオン電池は充電式電池、モバイルバッテリー以外

様々な製品に使われていますが、内蔵して取り出せないものが増してきたため、ごみ分別にも支障が出ています。左図は一例ですが、スマホやゲーム機など個人情報記録されるものは廃棄物対策課へ。それ以外は小型家電として回収しています。また、市内の回収協力店ではリサイクルマークがあり、破損していないものを回収しています。プラスチックごみやもやせるごみに混入して火災にならないよう「混ぜるな危険!! リチウムイオン電池」を徹底する必要があります。不明な場合は廃棄物対策課まで、お問い合わせください。(043-484-6149)



市議会報告



富里市のデマンド交通 キャロリン号

佐倉市にもデマンド交通を



市議 松島こずえ

＜富里市 2つの方式による運行＞

	利用できる方	運行方法	乗車運賃(片道)
乗降ポイント方式	・市民 ・市内在学者	決められたポイントで乗降	・市内 300円(小学生 100円) ・市外 500円(小学生 300円) ・小学生未満無料 ・後期高齢者：半額 ・障害者手帳、運転経歴証明書所有者：半額
ドア・ツー・ドア方式	・70歳以上 ・要介護認定を受けている方 ・障がい者と一緒に利用する方 ・停留所まで歩くことが難しい方 ・乳幼児と一緒に利用する方 ・妊婦の方	自宅前で乗降	・市内 400円 ・市外 600円

乗りたい時間に乗りたい場所で乗り、目的地まで行けるデマンド交通の必要性を訴えてきましたが、実現していません。

富里市では、子どもから高齢者まですべての市民が利用しやすい、やさしい地域交通を目指し、現在、予約制の乗合タクシー(キャロリン号)を運行しています。予約は電話かウェブで乗車の30分前までできます。基本は決まった乗降ポイントで乗り降りしますが、

富里市のデマンド交通

富里市では、子どもから高齢者まですべての市民が利用しやすい、やさしい地域交通を目指し、現在、予約制の乗合タクシー(キャロリン号)を運行しています。予約は電話かウェブで乗車の30分前までできます。基本は決まった乗降ポイントで乗り降りしますが、

70歳以上の方や乳幼児連れ、妊婦の方は自宅前で乗降できます。乗降ポイントは病院や公共施設、店舗など主要なポイントを網羅しています。市外の酒々井アウトレットも対象であることには驚きました。デマンド交通を成功させるためには、市内で競合する民間バス会社やタクシー会社の協力・理解が不可欠です。富里市では、市民の声が後押しとなり、民間事業者も理解を示してくれたとのこと。

佐倉市は2013年から5年間、南部地域でデマンド交通を運行していましたが、前日までの予約が必要など使い勝手が悪くともあり、利用者数低迷で終了しました。まずは、モデル地区で運行を開始し、検証しながら市内に広がってほしいと、市議会で提案しました。

車なしでも生活できる佐倉市に

佐倉市ではシルバー人材センターが福祉有償運送を行っていますが、利用できるのは障がい者や要介護者に限られるため、誰でも使えるデマンド交通の需要が高まっています。

今後も高齢者の増加で、移動が困難な市民がさらに増えていくと予想されます。日常の買い物にも利用できるデマンド交通の運行を、引き続き求めていきます。

ふるさと広場の奇々怪々

● 大型公共事業優先の市政

西田市政2期目の折り返し地点に差しかかりましたが、相変わらず多額の税金を大型公共事業につぎ込んでいます。少子高齢化による市税減収、公共施設や生活道路の老朽化、街路樹の整備など課題山積の中、新規大型道路建設、用地買収へ突き進んでいます。市長選の争点となった「不要不急の大型公共事業より、教育や福祉など市民の暮らし最優先で」との訴えに対し、見直しは行われていません。

● 駐車場が有料に？

ふるさと広場は、風車があり、春にはチューリップフェスタや桜で、毎年、市外からも多くの観光客が訪れています。現在、土地を借りて開催していますが、その土地を買収し、通年型の花のテーマパークとして観光地化する構想の下、用地取得が進んでいます。普段は市民がふらっと散歩に行けますが、観光地化すると駐車場は有料になり、飲食店やガーデンを民間が設置して運営するPark-PFIが導入される予定です。さらに印旛沼に水上デッキを設置する計画があり、7700万円と概算が出ていますが、県が関わっており、市の負担がどれだけ膨らむかも不明です。

● 危険な変則五差路

市民の方から、「臼井田に危険な変則五差路があり、自治会で要望書を市に提出するなど何度も対策を求めているが、長年放置されている」と相談がありました。その五差路は信号機がなく、歩道もなく、近くに小学校・幼稚園・保育園がある通園・通学路です。今後、ふるさと広場が観光地化されれば、抜け道としてさらに危険になる可能性があり、安全対策が急務であると常任委員会で質問しました。

市は「通年型になれば、今のチューリップの時より観光客が分散されるから、渋滞しないのでは。チューリップの本数も今よりも少なくなるので、観光客も減るかも」とわけの分からない答弁。今後もこの問題について引き続き声を上げていきます。

指定管理者の選定に異変が

市議 五十嵐ともみ

は委員会の傍聴もできず、議事録も読めず、賛否の判断を迫られることになりました。

● 非公開の理由は…

今回の会議非公開の根拠として、市の情報公開条例「法人等の事業に関する情報を公開すると他社に漏れてしまう恐れがある、傍聴人がいると会議の中立性が損なわれる」を挙げています。そのような事態が起きたのかと11月議会で質問しましたが、今まで一度も起きたことはないという答弁でした。

● 公開の原則が後退

それにもかかわらず、選定委員会を今年度のような全面非公開に変えたことは、公正な審査が求められる指定管理選定の在り方をゆがめるものです。情報公開は民主主義の根幹であり、市民への会議公開を原則とするこれまでの運用に戻すよう11月議会で訴えました。

指定管理者制度とは

公共施設の管理・運営を市直営から民間事業者等に代行させる制度です。佐倉市は昨年度までに70施設に導入しています。しかし、この制度の問題点として、事業者が営利企業の場合、公共施設がビジネスの道具になる、収益増大に走りサービスが低下する、人件費削減などの雇用問題が発生する等が指摘されています。市民ネットワークも人件費を含めた労働条件の改善や雇用の安定などを提案してきました。

選定過程が非公開に

事業者を公募後に、指定管理者を選定する審査委員会が何回か開かれます。候補事業者への個別ヒアリングを行う委員会は公開されていましたが、今年度から非公開になりました。さらに議事録も議決後の正式決定となるまで公開されません。議員

県議会報告



県政レポート

いのちと暮らしを大事にする県政に



県議 川口えみ

若年女性への支援

「トー横キッズ」に代表される、繁華街に集まる若年女性が問題になっていきます。背景には虐待や家族との関係が悪く家にいられない、非正規雇用や働いても続かず生活が困窮する、生きづらさという問題が複雑に絡みあっています。千葉県では昨年からは、次のような支援を開始しました。

日用品配布と悩み相談

今日過ごす居場所がない・お泊まりグッズがほしい・ちよつと不安なことがある・ついでにチョコッと寄ってみたい女性へのアウトリーチ型支援を、千葉市や船橋市などで行っています。

1月10日夜、千葉中央公園の現地視察をしました。コスメグッズやおやつなど、様々なものを乗せた車が停まり、好きなものを持ち帰ることが



いくのパーク図書室1/21(大阪市生野区)

できます。繁華街から千葉駅までの通り道となっており、女の子のグループが立ち寄り、スタッフと気軽に話をしています。スタッフのさりげない対応が印象的でした。

LINE相談

「むすびめ@千葉女性相談」平日9時〜21時 下のコードから利用できます。



居場所とシェルター

「women's base Tamro」津田沼駅近く 平日12時〜18時(月1回ランチ会) シェルターとして1泊程度緊急で宿泊ができる場所も用意しています。

1月20日、大阪府茨木市にある若年女性のシェアハウスを視察。実際に宿泊して、住民の女性たちとたくさん話をしました。シンママ応援団では、シングルマザーに月1回手作りケーキや食料、日用品などを送っています。あえて何も聞かない・言わない支援のあり方に感銘を受けました。このほかに、茨木市や大阪生野区で子ども・若者・外国人への支援についても視察しました。当事者に寄り添った支援を提案していきます。



シンママ応援団大阪 1/21



若年女性のシェアハウス 1/20

県立図書館リニューアル

皆さんは県立図書館を利用したことがありますか。県立図書館は現在、中央(千葉市)、西部(松戸市)、東部(旭市)に分かれています。図書館3館と文書館を合わせて、県立青葉の森公園内に複合施設を建設予定です。来年度から工事が始まり、2029年度に開館予定です。

1月10日、福岡県立図書館を視察し、障がい者、外国人向けを中心に、電子書籍の購入に力を入れていると伺いました。市町村の図書館は一般的な書籍に重点を置いているため、県立図書館の役割として

重要です。また、外国人が日本語を習得しやすいような書籍も揃えています。

渡り廊下で繋がったことも図書館は、独立しているのでも声をだしても大丈夫。地域のボランティア団体から贈られた布の絵本は大人気。読み聞かせやさまざまな講座を行い、小学生までの学習室もあります。

千葉県内で図書館がない市町村は3割もあります。これらの市町村を補完する役割をさらに充実させるよう、県立図書館に求めていきます。

〇先生の過労死裁判

2013年12月、佐倉市教育委員会の指導主事だった〇先生が、異常な業務集中の末、自ら命を絶たれました。

2022年、遺族が佐倉市教育委員会を提訴。裁判では、当時の教育長のパワハラも指摘されています。千葉県の教員の人権と職場環境改善に向け、署名活動や裁判傍聴などに取り組んでいます。

次回裁判は、3月11日(火)14時から千葉地裁にて行われます。ぜひ、傍聴にいらしてください。



街中で軍事訓練

1月12日習志野演習場での「第一空挺団降下訓練始め」という、パラシュート降下訓練が、12力国軍合同で行われました。前日に、市民ネットワーク千葉県主催の抗議行動を、JR津田沼駅前50人参加のもと行い、その後、習志野駐屯地で、訓練中止の要請書を自衛隊に渡しました。

周囲に住宅が密集している習志野演習場は、国内の降下演習場で最も狭く、これまでも高校の校庭に誤降下する事故などがありました。

軍事訓練よりも、まずは戦争をしないための外交努力をすべきです。これからも毎日の暮らしと平和を訴えていきます。



自衛隊に要請書を提出 1/11

議会予定

傍聴においでください。インターネットでも視聴可

- 千葉県議会 2月定例議会(予定)
 - 1/23(木)開会〜2/25(火)閉会
 - 1/29(水)〜2/6(木)一般質問
 - 2/10(月)〜13(木)予算委員会
 - 2/14(金)〜19(水)常任委員会

- 佐倉市議会 2月定例議会(予定)
 - 2/25(火)開会〜3/25(火)閉会
 - 3/3(月)〜6(木)一般質問
 - 3/10(月)〜13(木)常任委員会
 - 3/17(月)〜21(金)予算委員会

映画上映会「〇月〇日、区長になる女。」

2月11日(火・祝日)

1回目 9:45〜11:45 ミレニウムセンター 佐倉 ホール
2回目 14:00〜16:00 西志津ふれあいセンター ホール
チケット:500円

主催:市民の力で佐倉を変える会

*東京都杉並区長選挙で187票差で当選した岸本聡子さん。市民の草根運動の貴重なドキュメンタリー映画です。

お申込み・問い合わせ先 さくらネット:043-462-0618

オンライン学習会「ホームレス支援最前線〜27年の活動から見てきたこと〜」

2月27日(木)18:00〜19:30

講師:副田一朗さん(ガンバの会理事長)

参加費:無料

主催:市民ネットワーク 川口えみ

*仕事や住む所を失い、困っている人が増えています。困窮者支援に奮闘してきた副田

さんの話には圧倒されます。お申込みはこちらから↑

